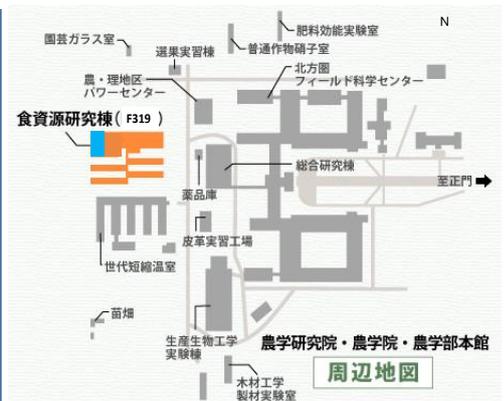


# BSE をめぐる対話

- ◇ 日 時 2016年8月17日(水) 9:30~17:30
  - ◇ 会 場 北海道大学農学部 食資源研究棟 F319 (農学部裏)  
札幌市北区北9条西9丁目
  - ◇ 主 催 リスコミ職能教育プロジェクト
  - ◇ 対 象 札幌市及び近郊の皆さま 80人
  - ◇ 内 容 9:00~12:00 情報提供と意見交換  
12:00~13:00 お昼 (お弁当付)  
13:00~15:00 討 論  
15:30~17:30 BSE 対策の今後にどう向き合うか
- ※協力 北海道大学大学院農学研究院、札幌消費者協会(公益社団法人)



申し込み期限 7月29日(金) 午後4時  
託児室をご希望の方はお申し出ください

## 開催主旨

BSE 管理体制が 2013 年に改められた後の 2016 年 2 月 10 日に、「牛海綿状脳症対策基本計画の全部変更」が公表され、定型 BSE は着実に終息に向けた階段を上っています。今また食品安全委員会は、厚労省の諮問を受けて、定型 BSE に関するリスク評価を始めました。リスクの低下と共に管理措置が緩和されることは、順当なことと考えられます。評価が進めば、いずれ国民に対しパブリックコメントを求めることになるでしょうし、リスクコミュニケーションが行われることでしょう。

そこで、情報伝達を主目的とするのとは少し異なる対話の場を設けたいと考えました。情報に接し、状況を考え、議論をし、意見を整理し、BSE に向き合う姿勢に関する皆さまそれぞれのご意見をお伺いし、その結果を北海道などに届けようというものです。

	現在の BSE 管理体制	食品安全委員会で検討されている内容
BSE 検査	◎48 か月齢超	◎健康牛の月齢による検査の廃止 ◎運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状がうかがわれるもの及び全身症状を呈する 24 か月齢以上の牛。
	<2013 評価のまま継続し変わらない：死亡牛の検査対象月齢は 48 か月齢以上>	
SRM ※	◎全月齢の扁桃及び回腸遠位部 ◎30 か月齢超の脊柱	◎廃止 ※ ◎廃止 ※
	<2013 評価のまま継続し変わらない：30 か月齢超の頭部（舌、頬肉、皮及び扁桃を除く）及び脊髄>	
	<2001 年 10 月以降継続し変わらない：飼料規制>	

※現時点でプリオン専門調査会は評価せず(今後行われる) < >は、見直し対象にはない

リスコミ職能教育プロジェクトは、平成 26 年度から 5 年計画で文部科学省の「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」の採択を受けて実施するものであり、既存の食品リスクや健康リスク、農業やバイオテクノロジーのリスクなど、1 つのハザードに限定するリスク問題ではなく、複数の対象を多角的に扱い、各ステークホルダーらと共に共感を生むコミュニケーションの場を構築し、その定着を図ることを目的としています。

これらを通じて、リスクコミュニケーション能力を身につけた人材の育成、さらには適正・妥当な教育カリキュラムの考察、実践の場を通じた現場の人々への知識とリスクの知を拓くことを目指しています。

研究代表 小林国之(北海道大学大学院農学研究院 准教授)

事務局 060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学農学部 食資源研究棟 F315

電話&FAX 011-706-3868 担当 吉田省子(客員准教授)／堀浩子(事務補佐)

e-mail risk-com@cen.agr.hokudai.ac.jp

